

事業の概況

■国内景気は回復基調で推移

当第2四半期連結累計期間(2014年1月1日~2014年6月30日)におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要とその反動の影響もありましたが、緩やかな景気回復基調で推移しました。

このような経済状況にあって国内企業のIT投資は、Windows XPの買い換え需要もありシステムの更新を中心に好調に推移し、節電対策やBCP(事業継続計画)構築などの需要についても底堅く推移しました。

■コスト削減、生産性向上につながる提案

以上のような環境において当社グループは、「お客様の目線で信頼に応え、総合力でオフィスを元気にする」を2014年度のスローガンに掲げ、Windows XPの買い換え需要や消費税増税前の駆け込み需要への対応を行いました。また、引き続きお客様との接点を強化し、コスト削減や生産性向上による競争力強化につながるシステム提案、節電対策に有効な提案を積極的に行いました。併せて、魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の生産性向上や負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスの強化も図りました。

景気は緩やかな回復基調
IT投資は好調に推移

コスト削減、生産性向上提案
ストックビジネスの強化

■ 大幅な増収増益

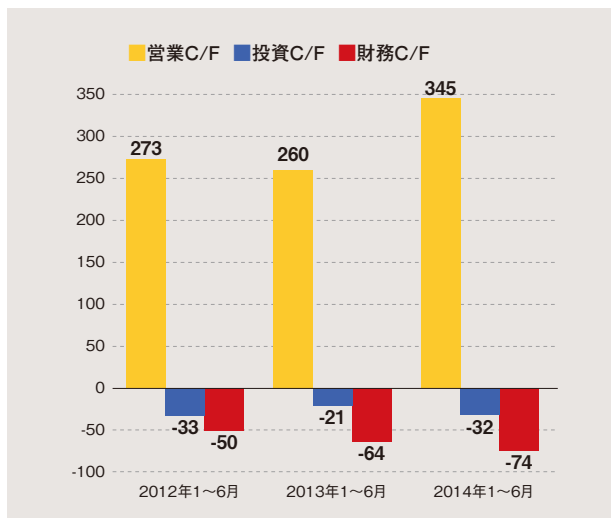
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,324億11百万円(前年同期比16.8%増)となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益242億86百万円(前年同期比24.6%増)、経常利益247億96百万円(前年同期比32.9%増)、四半期純利益150億16百万円(前年同期比34.2%増)となりました。

(単位：百万円)

	2013年1～6月	2014年1～6月	
	金額	金額	増減率
売上高	284,623	332,411	+16.8%
営業利益	19,486	24,286	+24.6%
経常利益	18,656	24,796	+32.9%
純利益	11,189	15,016	+34.2%

■ キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前四半期純利益」が増加したことなどにより、345億79百万円(前年同期比85億24百万円増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、「ソフトウェアの取得による支出」が増加したことなどにより、32億72百万円(前年同期比11億円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、「配当金の支払額」が増加したことなどにより、74億69百万円(前年同期比10億62百万円増)となりました。

四半期別の概況

■売上高の推移

売上高は、第1四半期(1~3月)は高伸長、第2四半期(4~6月)も増収となり、各四半期の過去最高売上高を更新しました。

第1四半期(1~3月)売上高は、1,768億94百万円(前年同期比25.8%増)となり、第2四半期(4~6月)売上高は、1,555億16百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

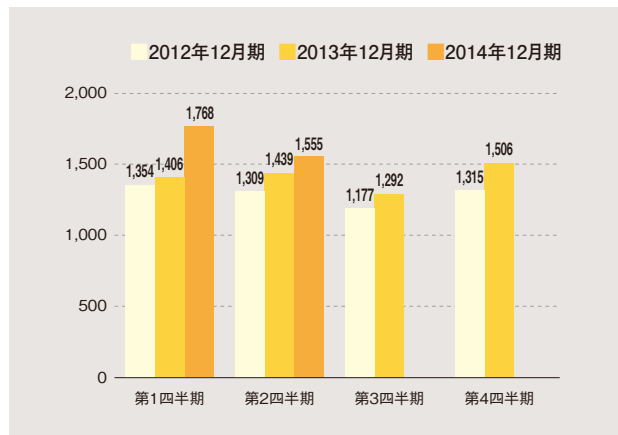
■経常利益の推移

経常利益については、第1四半期(1~3月)は大幅な増益となり、第2四半期(4~6月)も高伸長だった前年に対して増益を確保しました。

第1四半期(1~3月)経常利益は、124億68百万円(前年同期比93.9%増)となり、第2四半期(4~6月)経常利益は、123億28百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

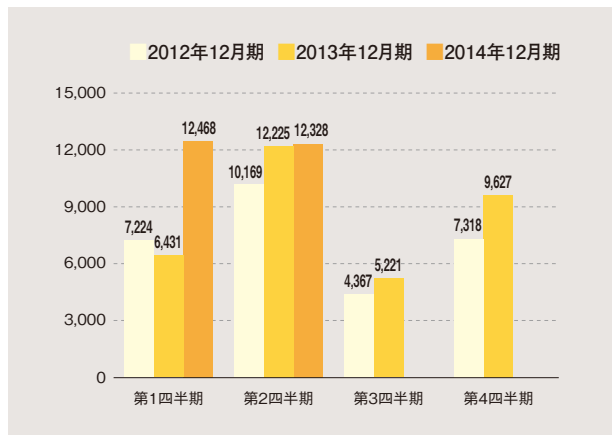
売上高の四半期推移

(単位：億円)



経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



事業セグメント別の概況

■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、システム更新需要やIT投資に積極的な企業の需要を掴み、パソコン・サーバーや複写機等の販売台数を伸ばし、売上高は2,100億4百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」のカタログの臨時増刊号発刊や臨時倉庫の増床を行いサプライ用品の消費税増税前の駆け込み需要を掴みました。サプライでは4月以降に駆け込み需要の反動がありました。上期で前年同期比増とし、また保守等も前年同期比増とし、売上高は1,222億16百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

■その他の事業

その他の事業では、売上高は1億90百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位：百万円)

